




TOSHIBA



鉄道交通システムの
「ホームドクター」を目指して

交通システムサービス事業案内

東芝インフラテクノサービス株式会社

Toshiba Infrastructure Technology Service Co., Ltd.

鉄道交通システムの「ホームドクター」を目指して

東芝が提供する鉄道交通システムのアフターサービスを通じて
お客様目線と現場力で課題を解決する
鉄道交通システムの「ホームドクター」を目指します。



循環型ライフサイクル・ビジネスを支えるCPS[※]技術

- 予兆・予測技術
- 効率化・最適化・省エネ技術

※CPS (サイバー・フィジカル・システム)

CPSとは、実世界(フィジカル)におけるデータを収集し、サイバー世界でデジタル技術などを用いて分析したり、活用しやすい情報や知識とし、それをフィジカル側にフィードバックすることで、付加価値を創造する仕組みです。

主な保守取扱製品

車両システム



車両情報システム／保安装置



空調システム



電源システム



交流電気車用駆動システム



直流電気車用駆動システム

試験装置

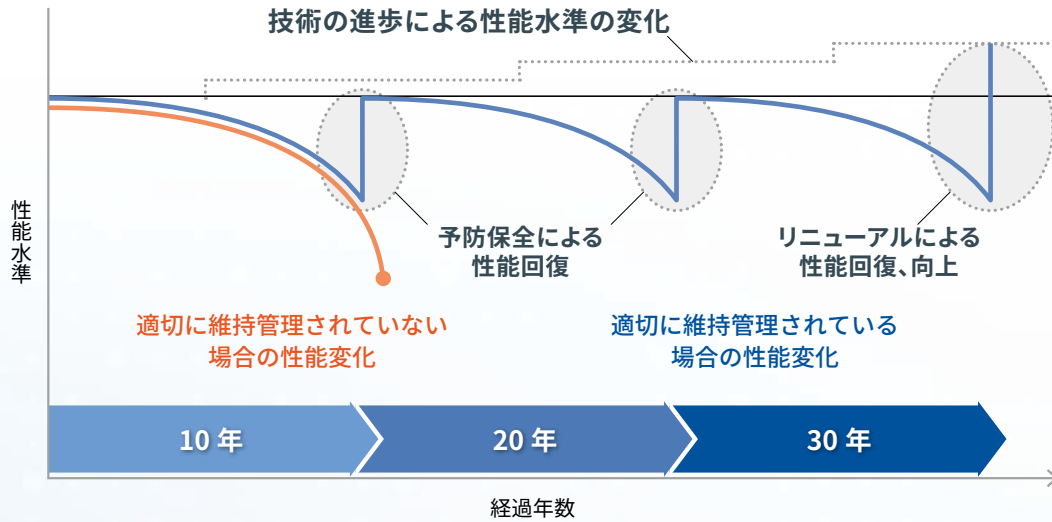


各種試験装置

鉄道交通システムの安全・安心を支える

鉄道事業者様に納入された鉄道車両は、20～30年、あるいはそれ以上の年月使用されます。安全・安心に車両が運行し続けるために、当社はアフターサービスの分野でサポートします。

部品の経年劣化に対する予兆・予測技術や効率化・最適化・省エネ技術などにより課題を解決します。



※この図は、鉄道車両の経過年数と、性能水準の変化のイメージを示したものです。
維持管理状態や、予防保全／リニューアルの対応方法などにより、実際とは異なる場合があります。

車両用の電気品が、導入当時の性能を回復するよう、適宜予防保全を行います。

予防保全の延長として、最新の技術を適用した、機能追加や新しい部品への置き換え(リニューアル)を実施する場合があります。

ワークフロー

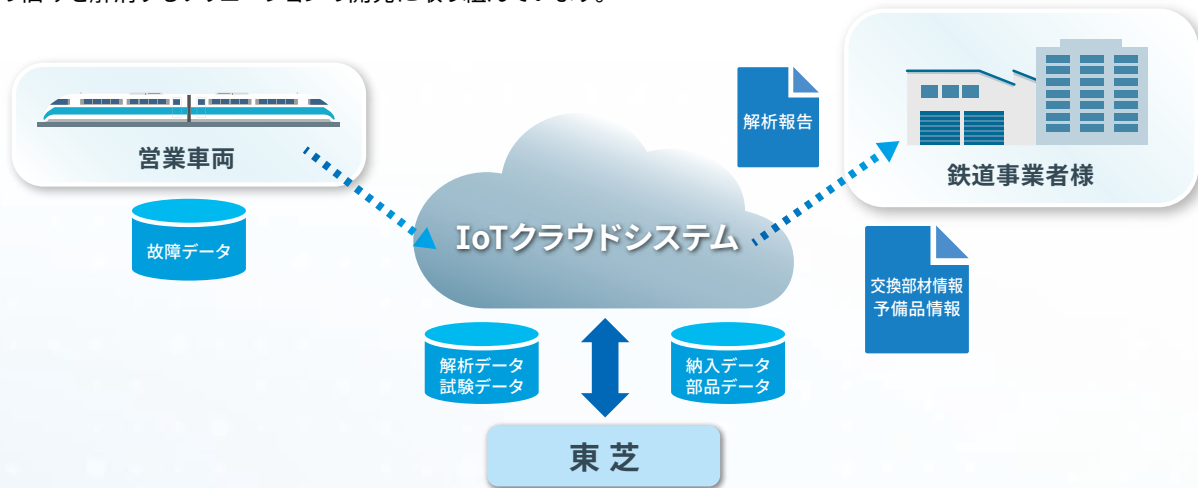
製品導入後、次のような仕事の流れて予防保全・リニューアルまで進み、次の製品導入へ繋がっていきます。



CPS技術への取り組み

当社は東芝グループが目指す、フィジカルとデジタルを融合させ、産業分野でのデジタルトランスフォーメーションをリードする、CPSテクノロジー企業の一端を担っています。

鉄道車両は長期に使用されますが、さらに鉄道事業の歴史も長く、それらのことが保守の仕組みを複雑にしており、営業運転中の車両故障対応や交換部品の手配を難しくしています。これらの故障対処にまつわる鉄道事業者様やサプライヤーの悩みを解消するソリューションの開発に取り組んでいます。



世界に広がる東芝の鉄道技術

国内はもとより、世界中に展開されている東芝の鉄道交通システムをサポートしています。安全・安心・高品質を常にご提供し続けることで、世界中のお客様と社会の発展に貢献してまいります。

当社の主な海外マーケット



交通システムサービス事業の営業拠点

事務所名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX
国内営業部 北海道営業担当	〒063-0814	北海道札幌市西区琴似4条2-1-2 株式会社東芝 北海道支社内	011-624-1080	011-615-1113
国内営業部 川崎営業担当 海外営業部	〒212-8585	神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34 ラゾーナ川崎東芝ビル	044-576-6171 044-576-6172 044-576-6175	044-548-9550
国内営業部 名古屋営業担当	〒450-6630	愛知県名古屋市中村区名駅1-1-3 JRゲートタワー 株式会社東芝 中部支社内	052-564-8510	052-564-8305
国内営業部 関西営業担当	〒530-0017	大阪府大阪市北区角田町8-1 大阪梅田ツインタワーズ・ノース 株式会社東芝 関西支社内	06-6130-2211	06-6130-1102
国内営業部 九州営業担当	〒810-8555	福岡県福岡市中央区長浜2-4-1東芝福岡ビル 株式会社東芝 九州支社内	092-735-3301	092-735-3372

東芝インフラテクノサービス株式会社



URL <https://www.toshiba-tre.co.jp>

TRC-015J * R5
2025.04